

「女子中高生夏の学校2017～科学・技術・人との出会い～」出展報告

教育と普及委員会
人材育成・男女共同参画委員会

女子中高生が「科学技術にふれ」、科学技術の世界で生き生きと活躍する女性たちと「つながり」、科学技術に関心のある仲間や先輩とともに「将来を考える」機会として、2017年8月5日～7日に、埼玉県比企郡嵐山町の国立女性教育会館で「女子中高生夏の学校」(以後「夏学」)が開催されました (https://www.nwec.jp/event/training/g_natsugaku2017.html)。 「夏学」は独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)の主催で2005年より毎年開催されており、今年で13回目を迎えています。全国から集まった約150名の女子中高生と、約50名の保護者・教員が、2



第1図 ポスター展示のようす。

泊3日の合宿研修を行い、女子中高生が科学研究者、技術者、大学生・大学院生等との交流を通じて、理系進路の魅力を知り、理系に進もうという意思を高めることを目指しています。日本気象学会は今回初めてこれに出展しましたので報告します。

日本気象学会は、教育と普及委員会が中心となり、2日目に行われたポスター展示に出展しました。ポスター展示は、参加者が13時から15時50分の間に各出展団体のブースを回り、興味のある分野の話の聞いたり、キャリア相談したりするというスタイルです。今年は39の団体が出展しました。気象学会からは人材育成・男女共同参画委員会の委員を含む2名が参加し、ポスターの説明やキャリア相談を行いました。

ポスター展示の内容は、参加者にも身近な天気予報について、です。天気予報に使われている地上天気図や数値予報がどのように作られているのか、といった方向の研究がされているのかなどを参加者に説明しました。また、興味のきっかけになれば、と思い、夏季大学で用いた衛星画像の動画を流したり、雲や空の写真を説明付きで展示するなどしました。また、ポスターの説明を聞きにきた参加者には、展示した雲や空の写真を1枚プレゼントし、誕生月の毎日の天気図をダウンロードできるQRコードを配布しました。さらに気象に興味のある人に、気象学会のHPや天気図や気象資料が得られるwebページのURLなどを記載した用紙を配布しました。



第2図 参加者に説明しているようす。



第3図 参加者に説明しているようす。

気象学会のブースはポスター会場の入口近くに配置されたので、写真を見て、きれい、こういう現象はどこで見られるのか、こういう現象を見たことがある、といったふうによくの方が興味を持って足を止めてくれました。誕生月の毎日の天気図のQRコードも、「わ〜っ」と喜んで受け取ってくれました。また、もともと気象学に興味がある学生からは、どこの学部に入った方がいいのか、気象予報士になるにはどうしたらいいのか、彼女たちが気象学の中でどういった分野に興味があるのかなど、いろいろと相談を受けました。

また、引率の教職員の方からも、気象の分野が学校のカリキュラムにある、生徒で気象に興味のある子がいるなど、話を聞くことができました。

気象学に興味のある、なし、いろんな参加者がいましたが、どの参加者も若く、エネルギーに満ち溢れていました。そういった年代の参加者と触れ合える機会に恵まれたことに感謝します。今回のポスター出展が、少しでも、彼女たちの進路を考える助けになればいいな、と思います。